

## OB・OG 紹介

中国新聞社備後本社営業部  
平成20年度生 衣松 英亮さん



### ○現在の仕事内容を教えてください。

中国新聞備後本社営業部に所属しています。主な仕事は新聞販売店を回り、販売店の管理・管轄や販売推進の話をすることです。営業というとお客さんのところを一軒一軒回るイメージですが、主には販売店を回り、そこでの要望を販売促進に活用したり、編集サイドに相談したりします。

### ○なぜ現在の仕事についていたのですか？

中学校から大学まで陸上を続けており、就活の時「スポーツ関係の仕事」に興味がありました。新聞社は駅伝などの仕事を主催しているので、その事業などに関わりたいなと思います、入社しました。また、物心ついた時から我が家に新聞があり、それを読むのが好きだったので、「好きなものに関わる仕事」ができればいいなとも思っていました。

### ○サークル・勉強に関する学生時代のエピソードを教えてください。

主に陸上部中心の生活をしていました。長期の休みも練習や試合などがあったので、旅行に行くことは少なかったですね。週六で練習があり、日曜に試合が入ったりするとほぼ毎日部活という状況でした。そんなこともあり、勉強面ではスポーツ科学プログラムに所属し、スポーツ関係の研究をしていました。



## OB・OG 紹介

○ 学生時代にうれしかったこと・後悔していることを教えてください。

三年生の時に出雲駅伝に出場したことが思い出です。目標にしていた大会だったので、出場できて良かったです。やつておけばよかったなと思うのは、居酒屋などのアルバイトです。まかない料理も食べてみたかったし、バイト仲間同士のネットワークを広げられたら良かったなと思います。あとは、社会人になると長期の休みが少ないので、学生時代に海外などに行つて、見聞を広めていれば良かったなと思います。

○ 仕事のやりがいを感じる時はいつですか？

過程よりも数字を重要視する営業職のため、計画し実行したプランの結果が数字として現れたときにやりがいを感じます。一年のうちで数回くらいですが。(笑)

○ 好きだった授業はなんですか？

和田先生のスポーツ系の授業が面白かったですね。乳酸などの筋肉系に関することを学べて楽しかったです。

○ 卒業論文はどのようなものでしたか？

タウリン摂取が身体に及ぼす影響について研究していました。ネズミにタウリンを摂取させた後に運動をさせ、どんな変化が起きるのかを研究していました。

○ 総合科学部でよかったなと思うことはありますか？

自分の地元でスポーツ関係のことが学べるということがこの学部に進学することを決めましたが、波長が合う人が多かったなと思います。また、とことん突き詰めるよりも、広範囲の分野を万遍なく学べるという学部の特徴が自分にあっていました。

## OB・OG 紹介

### ○ 社会人と学生の違いは？

時間の使い方だと思います。休みの日は休み、仕事の時は段取りを考えて行動する、といった感じですね。学生の時、卒業論文を書くときも漠然と“できるところまでやろう”“時間になったら終わり”という感じでした。今は締め切りを意識し、日程を加味しながら“今日はここまでやりきろう”という意識になりました。学生時代、締め切り間近で提出することが多かったですが、手直しが入ること等を考えて、早めに提出するようになりました。あとは仕事に関するアンテナの張り方も強くなりました。天候や選挙など、仕事に活かせるようなことを意識して生活するようになっていきます。



### ○ 新聞の良さ・魅力を教えてください。

バラエティに富んだ情報が入っていることで、自分が興味のない記事まで読めてしまう、というのが魅力の一つだと思います。ネットだと自分の興味のあるものをメインに読んでしまうので、ネットよりも読みやすく構成されていると思うので、ぜひ読んでほしいですね。

### ○ 広大生へのメッセージ

その世代にはその世代にしかできないことが必ずあるはずですね。大学生は他の世代に比べて時間にゆとりがあるので、時間の使い方が学生生活を楽しめるかどうかにつながると思います。アルバイトに精を出すのも良いし、旅行で見聞を広めるのも良いと思います。ただ漠然と過ごしてしまうのではなく、この休みは〜したね！この学期は〜についてよく学んだね！といったことが言えるような学生生活をしてほしいなと思います。

【担当】

27生 堀田悠輔・佐藤大志

## OB・OG 紹介

広島大学  
教育・国際室支援グループ  
平成 15 年度生 諏訪 春菜さん



○現在の仕事内容を教えてください。

広島大学教育・国際室教育支援グループに所属しています。学生プラザの3階です。そこで主にMYもみじのシステム運営・管理をする担当の一員として働いています。MYもみじに関する問い合わせに回答したり、システムに不具合が生じたときに対処したり等々、色々なことをしています。

○学生時代の思い出

学部生時代は、地域文化プログラム（現在でいう総合科学プログラム社会探求領域の一部）に所属していました。サークル等には入っていませんでしたが、総科の大学院に進学して文化人類学を専攻しており、研究に力を注ぎました。大学院時代にカナダでフィールドワークを行い、修士論文にまとめたというのが学生時代の一番大きな出来事です。修士論文のテーマは「カナダ・バンクーバーにおける多様性と包摂の象徴人類学的研究」と中身が想像しづらい題材かもしれませんが、一言で表すなら「多文化共生」ってどういうことか？ということを考えての研究です。フィールドワークでカナダに滞在し、色々な人と出会い、調査としても普段の生活としてもたくさんのお話をすることができたことはとても良い経験になりました。また、学生の時はアクセシビリティセンターでインターンシップをしていました。研究とインターンの2つが私の学生時代の大きな柱でした。

## OB・OG 紹介

### ○ 学生時代の後悔は？

大学院生時代に海外でフィールドワークは行ったのですが、留学として、海外の大学に通うことをしてもよかつたなと思います。留学としてカナダに滞在していたら、フィールドワークで滞在するのはまた違う現地生活になっていたと思います。留学という選択をしていたら、どんな生活になっていたんだろうと考えたりします。

### ○ 広大生に一言お願いします。

興味があることにはどんどん積極的に挑戦してみると良いと思います。私の場合は「海外の国々ではどんな暮らしをしているんだろう、実際に見聞きしたい、自分も行つて生活してみたい」という興味があったので、実際にそうしてみたのですが、バイトであったり、サークルであったり、研究であったりといういろいろなベクトルの興味があると思うので、学生という身分と時間をを使って、いろいろなことに挑戦していただきたいと思います！

【担当】 27生 小川真里奈・中村励

